

ESD（持続可能な開発のための教育）全体計画



平成 24 年 7 月に「ユネスコスクール」の認定を受け、ESD に取り組み始める。
(四国で 3 校目、高知県では初めての認定)

ユネスコスクールとは？

ユネスコ憲章に示されたユネスコの理念を実現するため、平和や国際的な連携を実践する学校

全国 1120 校 (小学校 554 校) 2019 年 11 月現在 ESD の推進拠点と位置づけ (文科省)

【学びの 4 本柱】 知ることを学ぶ・為すことを学ぶ・人間として生きることを学ぶ・共に生きることを学ぶ

ESD とは？

持続可能な社会づくりの創り手を育む教育
(=未来を変える人づくり)

【ESD の推進で重視する 2 つの観点】

- ① 人格の発達や自立心、判断力、責任感などの人間性を育む
- ② 他人や社会、自然環境との関係性を認識し、「関わり」「つながり」を尊重できる個人を育む

【学習指導要領】

【第 1 章 総則】第 1 小学校教育の基本と教育課程の役割

3 2 の (1) から (3) までは掲げる事項の実現を図り、豊かな創造性を備え持続可能な社会の創り手となることが期待される児童に、生きる力を育むことを目指すにあたっては、学校教育全体並びに、各教科、道徳科、…総合的な学習の時間及び特別活動…の指導を通して、どのような資質・能力の育成を目指すのかを明確にし、教育活動の充実を図るものとする。

ESD の概念図

関連する様々な分野を“持続可能な社会の構築”の観点からつなげ、総合的に取り組む必要があります。

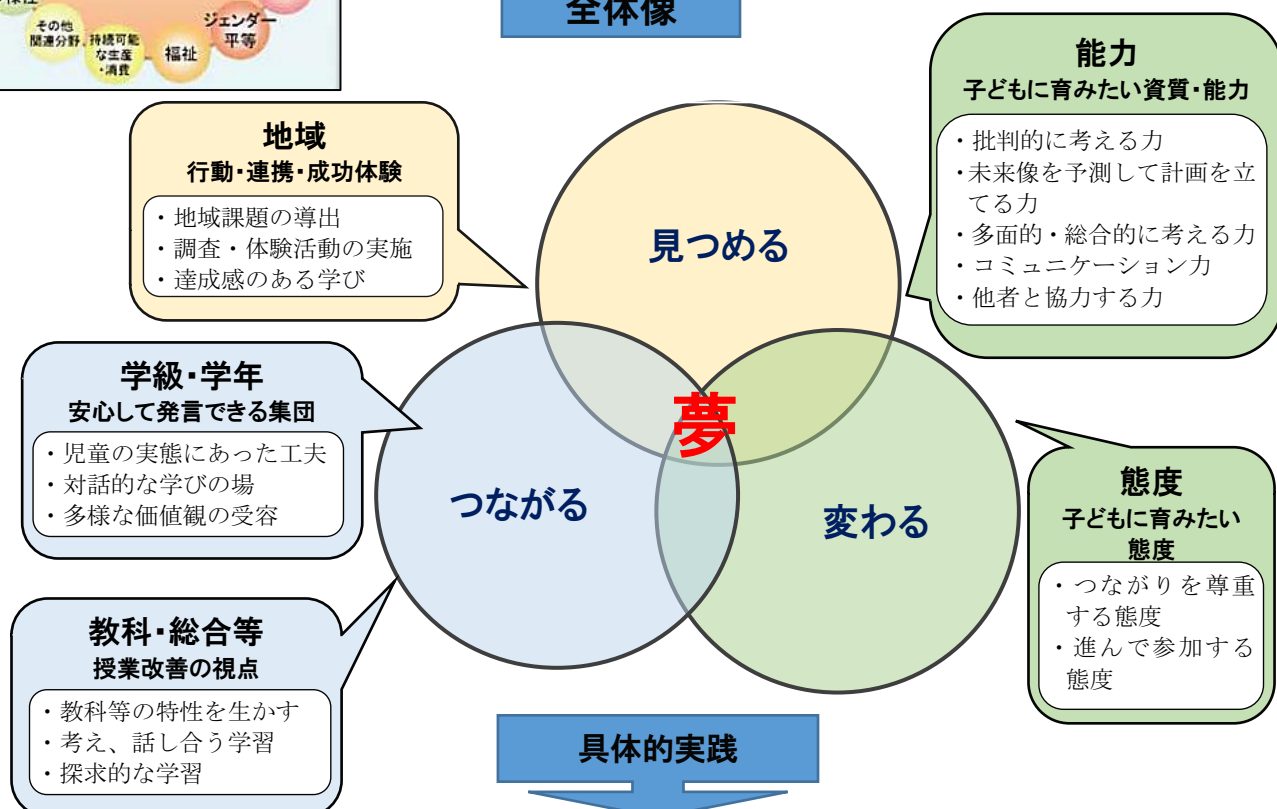


【学校教育目標】

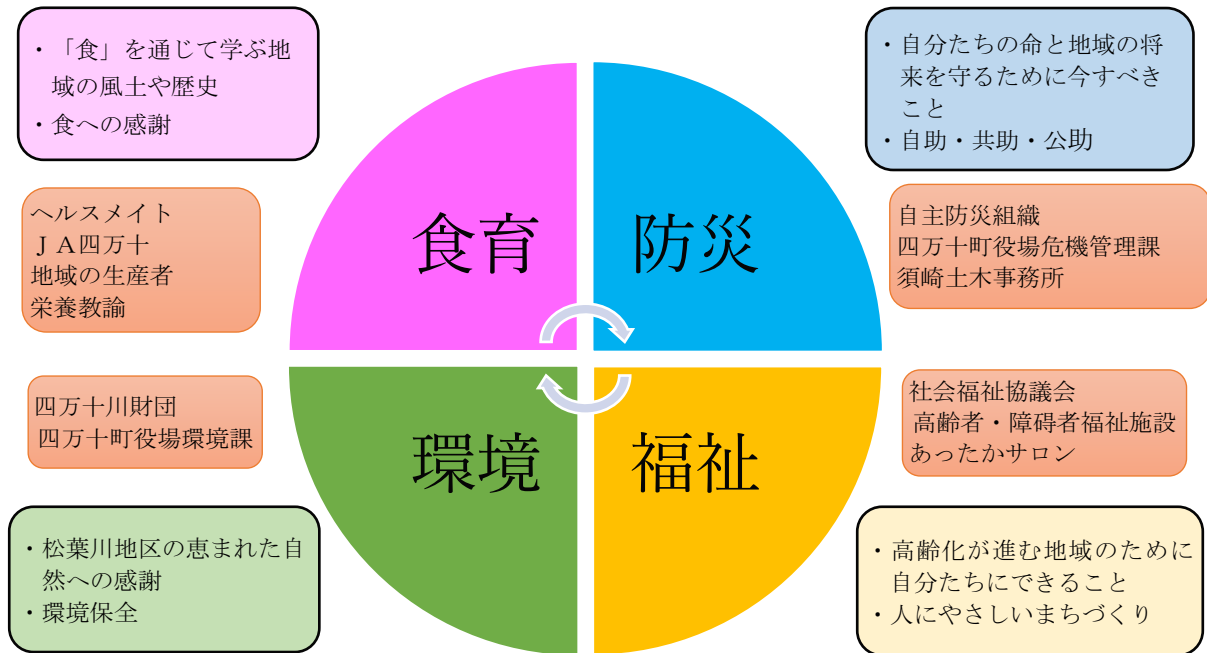
自ら学び・考え・行動し、人とつながる力を持った子どもの育成
かしこく やさしく たくましく

【テーマ】 つながりの中で七里に愛着を持ち、夢を持とう
～見つめる つながる 変わる～

全体像



具体的実践～地域や学校の実情に応じた取組～
 (生活科・総合的な学習の時間を中心にした教科・領域横断的な学習)



指導上の留意点 評価の観点

何のために
何を学ぶか

- ・持続可能な社会の形成のための価値観を育成
- ・思考力・判断力・表現力（情報発信力）の育成

どのように
学ぶか

- ・児童の主体性を尊重
- ・協働的な学び（グループ活動 協力して調査活動 まとめ活動 発表活動）
- ・探究的な学習過程（継続的な学びのプロセスがある）

何ができる
ようになる
のか

- ・習得した知識・理解の活用
- ・様々な問題を自分事として行動する「実践する力の育成」
- ・自己理解・他者理解・地域貢献⇒夢や目標を持つ

どのように
取り組むか

- ・教科・領域横断的に計画
- ・参加体験型の手法の活用
- ・地域（人・もの・自然）とのつながりを中心に据える

各学年の主な取組

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
ねらい	食物を育てる活動を通して、「食」への感謝を育む。	食物を育てる活動を通して、「食」への感謝を育む。	食物を育てる活動を通して、地域の風土を学び、「食」への感謝の気持ち を育む。	四万十川について調べることを通して、恵まれた自然への感謝の気持ちを持ち、環境を守っていかうとする気持ちを育む。	福祉施設の訪問や体験活動を通して、誰もが豊かな暮らしをするために何ができるかを考える。	七里地区の過去の災害や災害への備えについて調べることを通して、自助・共助・公助の精神を育む。
生活・総合 ◆単元名	◆なつだあそぼう ◆いきものとなかよし ◆たのしいあきいっぱい ◆ふゆをたのしもう	◆春をさがそう ◆いきものななかよし大きくせん ※田んぼの生き物調査	【七里の良いところを見つめよう～食と地域の風土～】 ◆コンテナしょうが栽培（植え付け・観察・収穫） ◆田んぼの生き物調査 ◆収穫祭をしよう（しょうがを使った調理） ◆七里のよさを見つけよう	【出会い・ふれあい・助け合い～人・自然・ふるさと～】 ◆四万十川について調べよう ※水生生物調査 ◆これからの四万十川について考えよう ◆広げよう環境を守ること	【出会い・ふれあい・助け合い～人・自然・ふるさと～】 ◆福祉について知ろう ◆福祉体験をしてみよう ※車椅子体験 ※高齢者疑似体験 ※アイマスク体験 ◆福祉について考えよう ※交流会・施設訪問 ◆人にやさしい町（自分にできること）を考えよう	【出会い・ふれあい・助け合い～人・自然・ふるさと～】 ◆いのちを守る 過去から学ぼう 未来に備えよう ※フィールドワーク（勝賀野・興津） ※聞き取り調査 ※炊き出し訓練
キャリア教育	いいところみつけ					
	夢の階段（作成・見直し）					
体験活動	芋作り体験（つるさし・いもほり）			米作り体験（田植え・稲刈り・収穫祭）		
情報発信	新聞・ポスター作り（GIGA タブレットの有効活用）、 子ども記者活動 学習発表会					

★カリキュラムマネジメントは、教育計画 8 各学年作成の ESD 活動計画及び活動カレンダー）参照